



問 大震災の義援金はどのような状況か 答 茨城県にも目赤から、160億円の配分

樋下 周一郎 議員

東日本大震災から一年が過ぎました、改めて、震災で亡くなられた方のご冥福をお祈りしますと共に、災害に遭われた皆様に心からお見舞い申し上げます。福島原発の事故は、周辺自治体に大きな被害をもたらしており、放射能問題が災害復興の足かせになっています。この一年間の経過の中で、津波対策や原発事故に対する検証がなされ、安全神話の中で、災害に対する考えがいかに甘かったかを、すべての皆さんが思い知らされる一年だったと思います。中でも、政府の対応がいかに不十分だったか、国の最高意思決定機関が議事録も残さなかったという、意図的にも取れる重大なミスを犯して、情報を的確に国民に知らせなかったことが政府への不信を生み、何が正しい情報なのか、国民を混乱させた根源でもあり、東京電力はもとより、国や政治家の責任は重いといわざるを得ません。

問 今回の災害で、義援金ほどの様な状況か。
健康福祉課長 2月29日現在、五霞町全体で11万2165円です。日本赤十字社には3101億6179万円の義援金が寄せられています、募金総額の99.4%が被災都道府県に送金され、茨城県にも160億6284万円の送金があり、配付額は134億805万円になっています。

問 町の災害に対する検証は、どの様にしたか。
総務課長 職員の初動態勢の見直しと、防災の日に合わせて総合訓練の実施、緊急時の燃料の確保、地震速報等については全国瞬時警報システムの運用、新年度、地域防災計画の見直しや、避難所の対応強化策として、防災行政無線戸別受信機の設定、必要備品の購入等を予定しています。

問 原発事故に対する経過とその対応はどうなっているか。
総務課長 放射能関係につきましても、土曜・日曜・祝日を除く毎日、役場において測定を実施しています。また、小中学校並びに幼稚園・保育園につきましても2週間に一度、定期的に測定をし、ホームページや広報紙にて公表をしているところです。更には、役場敷地内にモニタリングポストの設置

問 介護保険事業計画の見直しで、保険料の内容は？
答 保険料の改定で、月額平均600円値上げに

問 平成24年度からスタートする5期目の高齢者福祉、介護保険事業計画の内容は。また、今回改定される介護保険料を低く抑える努力をされたのか。
健康福祉課長 平成24年から26年までの計画で、三つの重点施策を設け、団塊の世代の高齢化が本格化する、平成27年以降における地域包括支援システム構築を見据えた最初の計画として位置付けられます。また、第4期計画の介護保険料は、基準額で月額3900円でありますが、準備基金を最大限3千万円取り崩して充て、低く抑えようとしたが、第5期計画では平均600円の値上げとなり、月額4500円となってしまうということです。

問 重点施策の目標達成度は、どのくらいになるか示すことができるのか。
町長 策定委員会が、毎年度、計画の進捗度や評価をしていくような方向で検討します。

問 在宅介護や予防介護への強化施策はどの様に。
健康福祉課長 地域包括支援センターの機能強化、2次予防事業対象者の把握と介護予防フォローアップ事業の充実、地域ケアシステムの強化です。

問 その他の質問
空き巣等の犯罪状況とその対策は。
答 町では23年度で11件の侵入盗が発生しております。今後の対策として、振り込め詐欺等を含めた犯罪啓発について、防災行政無線で周知するとともに、境警察署並びに小福田・元栗橋両駐在所のパトロール強化を依頼しています。